



## 2018年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社

コード番号 5301 URL <https://www.tokaicarbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長坂 一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松原 和彦 TEL 03-3746-5100

四半期報告書提出予定日 2018年8月8日 配当支払開始予定日 2018年9月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年12月期第2四半期の連結業績（2018年1月1日～2018年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第2四半期	91,688	86.4	29,177	590.1	29,955	508.2	44,207	655.1
2017年12月期第2四半期	49,184	9.6	4,228	—	4,924	—	5,854	—

(注) 包括利益 2018年12月期第2四半期 37,973百万円 (420.2%) 2017年12月期第2四半期 7,299百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第2四半期	207.39	—
2017年12月期第2四半期	27.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第2四半期	242,750	171,914	66.9
2017年12月期	182,972	126,599	68.8

(参考) 自己資本 2018年12月期第2四半期 162,323百万円 2017年12月期 125,835百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2018年12月期	—	12.00	—	—	—
2018年12月期（予想）	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2018年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 創立100周年記念配当 2円00銭  
2018年12月期期末配当金（予想）の内訳 普通配当 10円00銭 創立100周年記念配当 2円00銭

### 3. 2018年12月期の連結業績予想（2018年1月1日～2018年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	214,000	101.4	74,000	544.2	74,500	462.3	74,000	526.3	347.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年12月期 2 Q	224,943,104株	2017年12月期	224,943,104株
② 期末自己株式数	2018年12月期 2 Q	11,788,042株	2017年12月期	11,786,878株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年12月期 2 Q	213,155,798株	2017年12月期 2 Q	213,159,519株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2018年8月10日（金）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、開催日当日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 当四半期決算の経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(追加情報) .....	10
(企業結合等関係) .....	13
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 当四半期決算の経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年1月1日から2018年6月30日まで）の当社グループを取り巻く環境は、中国の環境規制強化や原材料価格高騰のなか、それぞれの事業において好転が見られました。一方で、景気は全体として緩やかに回復しているものの、米中政策運営、中国経済の動向、朝鮮半島情勢等是不確実性が高く今後の動向を注視していく必要があります。

このような情勢下、3ヵ年中期経営計画T-2018最終年となった当期では、2017年度から取り組んでいる「成長戦略」の一環として、引き続き事業領域の拡大、事業ポートフォリオ最適化に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比86.4%増の916億8千8百万円となりました。営業利益は前年同期比590.1%増の291億7千7百万円となりました。経常利益は前年同期比508.2%増の299億5千5百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比655.1%増の442億7百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## [黒鉛電極事業部門]

黒鉛電極の世界的な需給ひっ迫は継続しており、当社ではフル稼働が続きました。また世界的な市況上昇に加え、昨年11月より北米新拠点で連結業績に寄与したため、前年同期比で売上高、営業利益ともに大幅に増加しました。

この結果、当事業部門の売上高は前年同期比315.3%増の401億5百万円となり、営業利益は前年同期比大幅増の208億5千3百万円となりました。

## [カーボンブラック事業部門]

対面業界であるタイヤ及び自動車業界の生産が堅調に推移し、国内外での販売量増加、原料油上昇に伴う価格改定の実施、増産効果等により、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当事業部門の売上高は前年同期比24.2%増の291億9千3百万円となり、営業利益は前年同期比53.0%増の51億9千9百万円となりました。

## [ファインカーボン事業部門]

対面業界である半導体、太陽電池、一般産業用市場が堅調に推移しており、引き続き特殊黒鉛素材の需給バランスはタイトとなっております。かかる状況下、当社の特殊黒鉛素材生産設備は高稼働を維持し、販売価格も上昇しました。また韓国のTokai Carbon Korea Co., Ltd.が6月より連結子会社となり売上、営業利益の増加に寄与いたしました。

この結果、当事業部門の売上高は前年同期比36.3%増の93億2千7百万円となり、営業利益は345.4%増の17億3千9百万円となりました。

## [工業炉及び関連製品事業部門]

工業炉の売上高は、主要な需要先である情報技術関連業界向け及びエネルギー関連業界向けとも設備投資が進み前年同期比大幅増となりました。発熱体その他製品の売上高は、中国の電力インフラ向けで減少したものの、電子部品及びガラス業界向けの需要が堅調に推移したため前年同期比増となりました。営業利益については、工業炉並びに中国子会社の業績向上が寄与し前年同期比増となりました。

この結果、当事業部門の売上高は前年同期比89.5%増の53億4千8百万円となり、営業利益は前年同期比158.3%増の13億2千4百万円となりました。

## [その他事業部門]

## 摩擦材

対面業界である鉱山機械、油圧ショベルなどの建設機械向けや、産業用ロボットを含む工作機械向けの需要好調が続きました。この結果、摩擦材の売上高は前年同期比12.9%増の46億8千2百万円となりました。

## 負極材

リチウムイオン二次電池用負極材の市場は、欧州でのCO<sub>2</sub>排出規制の強化、米国でのZero-Emission-Vehicle規制の対象メーカー拡大、中国でのNew-Energy-Vehicle施策の導入等により拡大しております。この結果、負極材の売上高は前年同期比41.8%増の29億5千2百万円となりました。

## その他

不動産賃貸等その他の売上高は、前年同期比37.3%減の7千8百万円となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比21.4%増の77億1千3百万円となり、営業利益は前年同期比29.0%増の5億8千2百万円となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,152	37,024
受取手形及び売掛金	30,265	40,376
商品及び製品	9,257	10,078
仕掛品	10,063	17,015
原材料及び貯蔵品	8,041	12,097
繰延税金資産	1,312	1,661
その他	4,662	3,794
貸倒引当金	△514	△511
流動資産合計	85,241	121,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,672	15,330
機械装置及び運搬具(純額)	24,857	24,490
炉(純額)	813	2,438
土地	5,914	6,643
建設仮勘定	1,113	2,606
その他(純額)	2,075	2,177
有形固定資産合計	48,447	53,687
無形固定資産		
ソフトウェア	867	940
のれん	12,683	39,494
顧客関連資産	3,495	3,119
その他	699	640
無形固定資産合計	17,746	44,195
投資その他の資産		
投資有価証券	28,121	19,930
退職給付に係る資産	2,531	2,495
繰延税金資産	225	197
その他	722	760
貸倒引当金	△62	△51
投資その他の資産合計	31,537	23,332
固定資産合計	97,731	121,215
資産合計	182,972	242,750

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,463	15,800
電子記録債務	3,059	3,128
短期借入金	12,006	14,897
1年内返済予定の長期借入金	2,068	2,068
未払法人税等	1,550	7,632
未払消費税等	203	—
未払費用	2,056	2,489
賞与引当金	438	691
その他	4,023	6,734
流動負債合計	36,870	53,443
固定負債		
長期借入金	2,068	1,034
繰延税金負債	8,053	7,085
退職給付に係る負債	6,189	6,097
役員退職慰労引当金	83	80
執行役員等退職慰労引当金	39	44
環境安全対策引当金	45	167
その他	3,021	2,883
固定負債合計	19,501	17,392
負債合計	56,372	70,836
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	17,473	17,333
利益剰余金	78,902	121,830
自己株式	△7,253	△7,256
株主資本合計	109,558	152,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,345	9,270
為替換算調整勘定	3,631	△519
退職給付に係る調整累計額	1,299	1,227
その他の包括利益累計額合計	16,276	9,978
非支配株主持分	763	9,591
純資産合計	126,599	171,914
負債純資産合計	182,972	242,750

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)
売上高	49,184	91,688
売上原価	37,551	52,313
売上総利益	11,633	39,374
販売費及び一般管理費	7,405	10,196
営業利益	4,228	29,177
営業外収益		
受取利息	16	37
受取配当金	245	276
受取賃貸料	72	79
持分法による投資利益	544	673
その他	470	369
営業外収益合計	1,349	1,436
営業外費用		
支払利息	175	204
為替差損	162	79
その他	315	374
営業外費用合計	652	658
経常利益	4,924	29,955
特別利益		
段階取得に係る差益	—	22,843
固定資産売却益	2,476	65
関係会社清算益	408	33
投資有価証券売却益	58	—
特別利益合計	2,943	22,941
特別損失		
固定資産売却損	—	4
固定資産除却損	—	0
関係会社出資金売却損	96	—
特別損失合計	96	5
税金等調整前四半期純利益	7,772	52,892
法人税、住民税及び事業税	1,089	8,499
法人税等調整額	689	△171
法人税等合計	1,779	8,327
四半期純利益	5,993	44,564
非支配株主に帰属する四半期純利益	138	357
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,854	44,207



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	5,993	44,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,029	△2,077
為替換算調整勘定	267	△4,170
退職給付に係る調整額	△28	△71
持分法適用会社に対する持分相当額	38	△271
その他の包括利益合計	1,306	△6,591
四半期包括利益	7,299	37,973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,153	37,908
非支配株主に係る四半期包括利益	145	64

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,657	23,504	6,845	2,822	42,830	6,354	49,184	—	49,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	32	76	96	213	—	213	△213	—
計	9,666	23,536	6,921	2,918	43,043	6,354	49,398	△213	49,184
セグメント利益	25	3,397	390	512	4,325	451	4,777	△548	4,228

(注)1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△548百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△521百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	40,105	29,193	9,327	5,348	83,974	7,713	91,688	—	91,688
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	50	58	176	291	—	291	△291	—
計	40,111	29,243	9,386	5,525	84,266	7,713	91,979	△291	91,688
セグメント利益	20,853	5,199	1,739	1,324	29,117	582	29,699	△521	29,177

(注)1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△521百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△504百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

（持分取得による会社等の買収）

当社は、2018年6月26日開催の取締役会において、以下のとおり米国のカーボンブラックメーカーであるSid Richardson Carbon, Ltd. 及びそのグループ会社であるSRCG, Ltd. とNew SRCG Genpar, LLCの全持分を取得し子会社とすることについて決議し、決議のとおり2018年6月26日付で持分譲渡契約を締結しております。

#### 1. 持分取得の目的

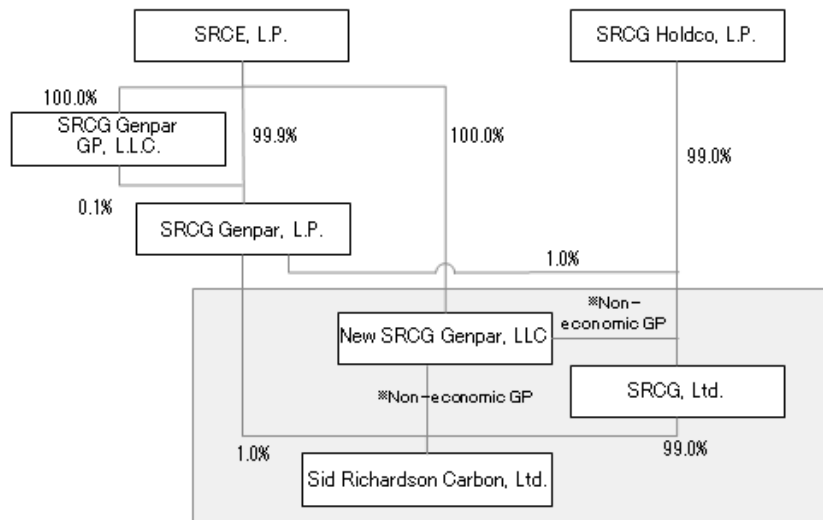
当社は、2017年2月に公表した3ヵ年中期経営計画「T-2018」のPhase 2に則り、成長戦略へ軸足を移した取り組みを進めております。

カーボンブラック事業は当社の主要事業の一つであり、中長期的に事業領域を拡大していく分野と位置付けております。石油、石炭系原料油等で製造するファーネスブラックの分野では、日本、タイ、中国に生産拠点を展開し、アジアにおけるリーディングカンパニーの地位を築いており、また、2014年にはカナダのCancarb Limited買収により、天然ガスを主原料とするサーマルブラックの分野への進出も果たしました。

このような中で、本件は今後も事業分野を拡大していくうえで課題でありました、ファーネスブラックの分野において主要な日系ユーザーが多数進出している北米市場におけるプレゼンス向上を目的としております。

本件は、カーボンブラックにおけるグローバルプレイヤーの一角としての当社の地位確立に大きく貢献し、事業規模拡大及び収益力向上、さらには当社の企業価値向上につながるものと考えております。

<本件買収対象範囲>



グレー部分が買収対象

※ Non-economic GPとは、パートナーシップにかかる州法上の規定（ジェネラルパートナーの責任に関する規定を含みます。）を充足するためにジェネラルパートナーとなる自然人又はエンティティであって、一般的なジェネラルパートナーが享受するパートナーシップ持分に応じたパートナーシップの利益、損失又は配当の分配を受けないものを指します。なお、Non-economic GPは、パートナーシップ持分を保有いたしません。

## 2. 持分取得の相手先の概要

## (1) SRCE, L.P. の概要（2018年4月30日時点）

① 名称	SRCE, L.P.
② 所在地	201 MAIN STREET, SUITE 3000, FORT WORTH, TX, USA
③ 代表者	SRCE GP, L.L.C.
④ 事業内容	石油、ガス、その他鉱石の探査及び開発
⑤ 大株主及び持分比率	Fannin Partners, L.P. (99.9%) SRCE GP, L.L.C. (0.1%)

## (2) SRCG Holdco, L.P. の概要（2018年4月30日時点）

① 名称	SRCG Holdco, L.P.
② 所在地	201 MAIN STREET, SUITE 3000, FORT WORTH, TX, USA
③ 代表者	SRCE GP, L.L.C.
④ 事業内容	SRCG, Ltd. のリミテッドパートナーシップ（持分99.0%）
⑤ 大株主及び持分比率	SRCG Holdco Investors, L.P. (100.0%) SRCE GP, L.L.C (0.0%)

## (3) SRCG Genpar, L.P. の概要（2018年4月30日時点）

① 名称	SRCG Genpar, L.P.
② 所在地	201 MAIN STREET, SUITE 3000, FORT WORTH, TX, USA
③ 代表者	SRCG Genpar GP, L.L.C.
④ 事業内容	Sid Richardson Carbon, Ltd. とSRCG, Ltd. のリミテッドパートナーシップ（持分1.0%）
⑤ 大株主及び持分比率	SRCE, L.P. (99.9%) SRCG Genpar GP, L.L.C. (0.1%)

## 3. 持分取得先の概要

## (1) Sid Richardson Carbon, Ltd. の概要（2018年4月30日時点）

① 名称	Sid Richardson Carbon, Ltd.			
② 所在地	201 MAIN STREET, SUITE 3000, FORT WORTH, TX, USA			
③ 代表者	New SRCG Genpar, LLC			
④ 事業内容	ファーネスブラックの製造・販売・研究開発			
⑤ 規模（注）1, 2	出資金 128.3百万米ドル			
⑥ 当該会社の事業規模 （注）2  （単位：百万米ドル）	決算期	2015年12月期	2016年12月期	2017年12月期
	純資産	110.5	96.2	114.8
	総資産	176.7	181.9	201.2
	売上高	340.7	254.3	311.9
	営業利益	35.3	18.6	21.3
	当期純利益	32.2	15.7	18.6

## (2) SRCG, Ltd. の概要（2018年4月30日時点）

① 名称	SRCG, Ltd.			
② 所在地	201 MAIN STREET, SUITE 3000, FORT WORTH, TX, USA			
③ 代表者	New SRCG Genpar, LLC			
④ 事業内容	Sid Richardson Carbon, Ltd. のリミテッド・パートナー（持分99.0%）			
⑤ 規模（注）1, 2	出資金 129.0百万米ドル			
⑥ 当該会社の事業規模 （注）2  （単位：百万米ドル）	決算期	2015年12月期	2016年12月期	2017年12月期
	純資産	111.3	97.2	115.6
	総資産	111.3	97.2	115.6
	売上高	31.9	15.6	18.4
	営業利益	31.9	15.6	18.4
	当期純利益	31.9	15.6	18.4

## (3) New SRCG Genpar, LLCの概要（2018年6月1日時点）

① 名称	New SRCG Genpar, LLC
② 所在地	201 MAIN STREET, SUITE 3000, FORT WORTH, TX, USA
③ 代表者の役職・氏名	William R. Jones, President
④ 事業内容	Sid Richardson Carbon, Ltd. とSRCG, Ltd. のジェネラルパートナー
⑤ 規模（注）1	出資金 0米ドル

- (注) 1. 「規模」に記載している出資金の数値は2018年4月30日もしくは2018年6月1日時点のTotal equity capitalの値を表しております。
2. 「規模」及び「当該会社の事業規模」の数値については、米国の税務基準に基づき作成されたものになります。また、SRCG, Ltd.については、監査済の財務諸表はございません。なお、New SRCG Genpar, LLCについては2018年5月に新設されたため、「当該会社の事業規模」に関わる情報はございません。

## 4. 持分取得の時期

2018年9月上旬（予定）

## 5. 取得価額及び取得前後の持分の状況

(1) 取得価額（概算）	(注)	341億円
(2) 取得前の持分	(注)	0.0%
(3) 取得後の持分	(注)	100.0%

(注) 「3. 持分取得先の概要」で記載しております3社全てにおいて取得前の持分は0.0%であり、取得後の持分は100.0%となります。取得価額にはこれら全ての取得対価の合計を記載しております。取得価額は換算レートとして1米ドル=110円で算出しております。なお、現時点で想定される取得価額を記載しておりますが、価格調整の金額により最終的な取得価額は変動することが見込まれます。

## 6. 取得資金の調達

金融機関からの借入により調達する予定です。

## 7. 環境規制に伴う設備投資について

Sid Richardson Carbon, Ltd. は2017年12月22日（米国時間）にDOJ（米国司法省）、EPA（米国環境保護庁）、テキサス州、ルイジアナ州と大気汚染に係る環境規制に伴い、以下の制裁金の支払い及び規制に対応する設備投資を実施することで合意しております。なお、本件は取得価額の決定に反映しております。

対象項目	発生金額	発生時期
制裁金	999千米ドル	2018年7月3日
環境対策費用	490千米ドル以上	2018年～2021年（予定）
追加設備投資額	約100百万米ドル	2018年～2023年（予定）

（企業結合等関係）

取得による企業結合

当社は、2018年5月14日開催の取締役会において、当社の持分法適用会社であるTokai Carbon Korea Co., Ltd.の株式を、当社に次ぐ第2位の株主であるKC Co., Ltd.より1,050,750株（発行済株式総数の9.0%）取得することを決議し、2018年5月28日付で以下のとおり株式の取得を完了し連結子会社としております。

なお、株式取得後の当社の議決権比率は44.4%であります。実質基準により連結子会社としております。

## 1. 企業結合の概要

### (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	Tokai Carbon Korea Co., Ltd.
事業の内容	炭素黒鉛製品及びCVD-SiCコーティング製品の製造販売

### (2) 企業結合を行った主な理由

当社は、現在2017年2月に新たに公表した3ヵ年中期経営計画「T-2018」のPhase 2に則り、成長戦略に軸足を移した取り組みを進めており、本件はその戦略投資の一環となります。

当社の主要事業の一つであるファインカーボン事業においては、黒鉛電極事業、カーボンブラック事業に次ぐ基盤事業の一つとして、更なる収益基盤の強化及び事業価値の向上が重要な課題となっており、加工技術や高純度化技術等の高い技術力を背景に大手半導体製造装置メーカーや大手半導体メーカー等の確固たる顧客基盤を有し、主要製品である半導体製造に使用するエッチング装置向けのSolid-SiC Focus Ringの分野においては高い市場シェアを誇るニッチトップ企業に成長しているTokai Carbon Korea Co., Ltd.を連結子会社とすることで、高い成長が見込める半導体分野の事業基盤を拡大し、ファインカーボン事業の競争力強化につなげることを目的としております。

### (3) 企業結合日

2018年5月28日

### (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式取得

### (5) 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

### (6) 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率	35.4%
企業結合日に追加取得した議決権比率	9.0%
取得後の議決権比率	44.4%

### (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価とした株式取得により、Tokai Carbon Korea Co., Ltd.の議決権を44.4%保有し、かつ、同社の意思決定機関を支配していることが明確であるためです。

## 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間 企業結合日から2018年6月30日までの業績を含めております。

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

企業結合直前に保有していた株式の企業結合日における時価	28,187百万円
追加取得に伴い支出した現金	7,836百万円
取得原価	36,024百万円

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー等に対する報酬・手数料等	100百万円
--------------------	--------

## 5. 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差益	22,843百万円
-----------	-----------

6. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

28,980百万円

なお、上記の金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

主として今後の事業展開により期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

14年間にわたる均等償却

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2018年8月7日開催の取締役会において、次のとおり資金の借入について決議しております。

1. 資金の用途

当社は、2018年6月26日開催の取締役会において、米国のカーボンブラックメーカーであるSid Richardson Carbon, Ltd.及びそのグループ会社であるSRCG, Ltd.とNew SRCG Genpar, LLCの全持分を取得し子会社とすることについて決議し、決議のとおり2018年6月26日付で持分譲渡契約を締結しており、この持分取得資金を調達するためであります。

2. 借入先の名称

株式会社三菱UFJ銀行

3. 借入予定金額

総額377億円(内ドル建て借入160,500千米ドル ※、円建て借入20,075百万円)

※ 1米ドル=110円で換算しております。

4. 利率

基準金利+スプレッド

5. 借入実行日

2018年8月下旬(予定)

6. 借入期間

1年

7. 借入形態

タームローン

8. 返済方法

期日一括返済(期限前弁済可)